

## XS-83P MULTI-FORMAT MATRIX SWITCHER

### 取扱説明書

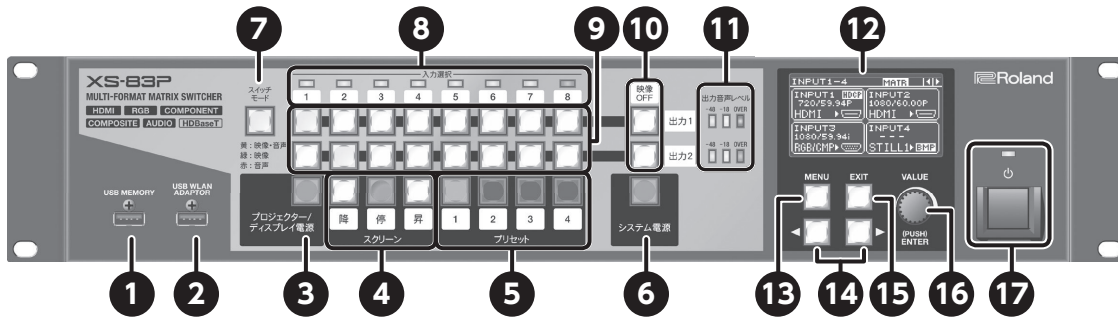
#### 目次

各部の名称とはたらき .....	2
設置と準備 .....	4
外部機器の接続 .....	6
映像／音声の操作 .....	8
出力映像にフェードをかける .....	8
音量を調整する .....	8
その他の機能 .....	9
プロジェクター／ディスプレイの電源をコントロールする .....	9
電動スクリーンをコントロールする .....	9
システム電源をコントロールする .....	10
設定を呼び出す（プリセット） .....	10
USB メモリーにログ・データを記録する .....	11
RS-232C メニューについて .....	12
スイッチ・モードの有効／無効を設定する .....	13
トップ画面の表示内容を変更する .....	13
資料 .....	14
主な仕様 .....	14
外形寸法図 .....	15

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』の「安全上のご注意」(P.3)と「使用上のご注意」(P.5)をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

# 各部の名称とはたらき

## フロント・パネル



番号	名称	説明	ページ										
1	USB MEMORY 端子	USB メモリーを接続します。設定の保存や読み込みや静止画の読み込み、ログ・データの書き込みをするときに使います。	P.11										
2	USB WLAN ADAPTOR 端子	ワイヤレス USB アダプター（別売）を接続して、iPad を無線 LAN で接続します。 iPad アプリケーション「XS-80H Remote」から本機をリモート・コントロールするときに使います。 ※ ワイヤレス USB アダプターは、ONKYO UWF-1、または Roland WNA1100-RL をお使いください。	—										
3	[プロジェクター / ディスプレイ電源] ボタン	接続されているデジタル・リンク対応のプロジェクターやディスプレイの電源をオン / オフします。 ・ 緑点灯： プロジェクター / ディスプレイ電源オン ・ 緑点滅： プロジェクター / ディスプレイ電源起動中 ・ 赤点滅： プロジェクター / ディスプレイ電源終了中 ・ 赤点灯： プロジェクター / ディスプレイ電源オフ	P.9										
4	スクリーン [降] [停] [昇] ボタン	電動スクリーンをコントロールします。	P.9										
5	プリセット [1] ~ [4] ボタン	メモリー番号選択ボタンとして機能します。プリセットとして保存した設定を呼び出します。	P.10										
6	[システム電源] ボタン	電源制御ユニットの電源をコントロールします。	P.10										
7	[スイッチモード] ボタン	クロス・ポイント選択ボタン（9）の動作モードを切り替えます。ボタンを押すたびに、映像・音声連動モード ⇒ 映像独立モード ⇒ 音声独立モード ⇒ プリセット・モード（*1）の順に切り替わります。 動作モードは、ボタンの点灯色で確認できます。 ・ 黄点灯： 映像・音声連動モード ・ 緑点灯： 映像独立モード ・ 赤点灯： 音声独立モード ・ 青点灯： プリセット・モード（*1）	—										
8	入力選択インジケータ	入力されている映像信号の種類を表示します。 ・ 青点灯： HDMI 信号 ・ 赤点灯： アナログ映像信号（RGB / コンポーネント、コンポジット、YC） ・ 白点灯： 静止画 ・ 消灯： 信号の入力なし	—										
9	クロス・ポイント選択ボタン	[スイッチモード] ボタン（7）で選んだ動作モードに応じて、以下のように機能します。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>動作モード</th> <th>クロス・ポイント選択ボタンのはたらき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>映像・音声連動モード</td> <td>映像 / 音声チャンネルのクロス・ポイントを切り替えます。動作モードに応じて、映像と音声を連動させて切り替えるほか、映像のみ、または音声のみを独立して切り替えます。</td> </tr> <tr> <td>映像独立モード</td> <td>ボタンの横方向が入力チャンネル、縦方向が出力チャンネルになります。現在、選ばれている音声 / 映像チャンネルは、ボタンの点灯色で確認できます。 ・ 黄点灯： 映像チャンネルと音声チャンネル ・ 緑点灯： 映像チャンネルのみ ・ 赤点灯： 音声チャンネルのみ</td> </tr> <tr> <td>音声独立モード</td> <td>・ 黄点灯： 映像チャンネルと音声チャンネル ・ 緑点灯： 映像チャンネルのみ ・ 赤点灯： 音声チャンネルのみ</td> </tr> <tr> <td>プリセット・モード（*1）</td> <td>メモリー番号選択ボタンとして機能します。プリセットとして保存した設定を呼び出します。</td> </tr> </tbody> </table>	動作モード	クロス・ポイント選択ボタンのはたらき	映像・音声連動モード	映像 / 音声チャンネルのクロス・ポイントを切り替えます。動作モードに応じて、映像と音声を連動させて切り替えるほか、映像のみ、または音声のみを独立して切り替えます。	映像独立モード	ボタンの横方向が入力チャンネル、縦方向が出力チャンネルになります。現在、選ばれている音声 / 映像チャンネルは、ボタンの点灯色で確認できます。 ・ 黄点灯： 映像チャンネルと音声チャンネル ・ 緑点灯： 映像チャンネルのみ ・ 赤点灯： 音声チャンネルのみ	音声独立モード	・ 黄点灯： 映像チャンネルと音声チャンネル ・ 緑点灯： 映像チャンネルのみ ・ 赤点灯： 音声チャンネルのみ	プリセット・モード（*1）	メモリー番号選択ボタンとして機能します。プリセットとして保存した設定を呼び出します。	—
動作モード	クロス・ポイント選択ボタンのはたらき												
映像・音声連動モード	映像 / 音声チャンネルのクロス・ポイントを切り替えます。動作モードに応じて、映像と音声を連動させて切り替えるほか、映像のみ、または音声のみを独立して切り替えます。												
映像独立モード	ボタンの横方向が入力チャンネル、縦方向が出力チャンネルになります。現在、選ばれている音声 / 映像チャンネルは、ボタンの点灯色で確認できます。 ・ 黄点灯： 映像チャンネルと音声チャンネル ・ 緑点灯： 映像チャンネルのみ ・ 赤点灯： 音声チャンネルのみ												
音声独立モード	・ 黄点灯： 映像チャンネルと音声チャンネル ・ 緑点灯： 映像チャンネルのみ ・ 赤点灯： 音声チャンネルのみ												
プリセット・モード（*1）	メモリー番号選択ボタンとして機能します。プリセットとして保存した設定を呼び出します。												
10	[映像 OFF] ボタン	出力映像にフェードをかけて、単色（指定可）の画像を出力します。映像が完全にフェード・アウトすると、ボタンが点灯します。	P.8										
11	出力音声レベル・メーター	出力チャンネルの音量レベルを表示します。	—										

（\*1）「スイッチ・モードの有効 / 無効を設定する」（P.13）で、プリセット・モードを「ON」（有効）に設定した場合のみ、プリセット・モードに切り替わります。

番号	名称	説明	ページ
12	ディスプレイ	入力/出力映像の情報やメニューなどを表示します。	—
13	[MENU] ボタン	メニューを表示します。	—
14	[◀] [▶] (カーソル) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニューの表示中、カーソルの位置を移動します。また、メニュー項目によっては、別チャンネルなどの設定画面に移動します。</li> <li>ディスプレイのトップ画面の表示モードを切り替えます。</li> </ul>	—
15	[EXIT] ボタン	メニューを閉じます。下の階層のメニューに移動しているときは、上の階層のメニューに戻します。	—
16	[VALUE] つまみ	メニュー項目の選択や設定の変更をします。[VALUE] つまみを押すと、選んだメニュー項目や変更した設定を確定します。	—
17	電源インジケータ	<p>電源の状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>赤点灯： スタンバイ状態</li> <li>緑点灯： 電源オン状態</li> <li>消灯： 主電源オフ状態</li> </ul>	—
	電源ボタン	<p>電源をオン/スタンバイ状態にします。</p> <p>※ リア・パネルの [POWER] (主電源) スイッチが「オン」のときのみ有効となります。</p>	—

## リア・パネル

リア・パネルの説明は、『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』をご覧ください。

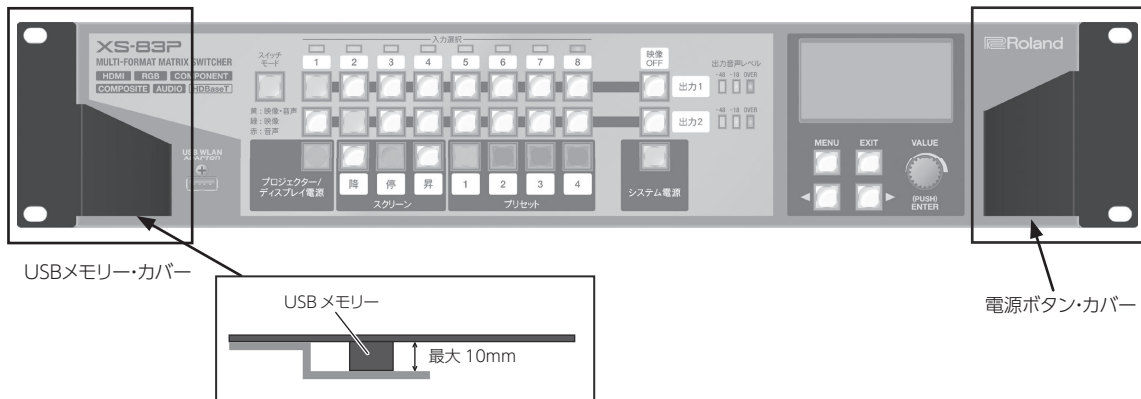
# 設置と準備

## USB メモリー・カバーと電源ボタン・カバーを取り付ける

USB メモリー・カバーと電源ボタン・カバーは、XS-83P をラックなどへマウントするときに、一緒に取り付けることができます。

### ご注意!

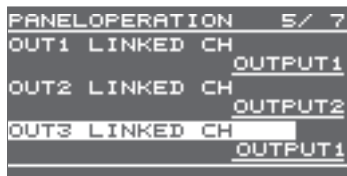
USB メモリーを挿した状態で USB メモリー・カバーを取り付ける場合は、飛び出し部分の高さが 10mm 以内の USB メモリーをお使いください (下図参照)。USB メモリーと XS-83P 本体を破損する恐れがありますので、カバー取り付け時には十分ご注意ください。



## OUTPUT 3 のリンクを設定する

XS-83P では、パネルから直接 OUTPUT 3 の切り替え操作ができないので、OUTPUT 3 の切り替えを OUTPUT 1 または OUTPUT 2 に連動 (リンク) させます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [PANEL OPERATION] ⇒ [OUT3 LINKED CH] で、どの OUTPUT と連動させるか設定する。



## LAN 接続型デジタル IO ユニット (LINEEYE LA-5R) を接続する

LAN 接続型デジタル IO ユニット (LINEEYE LA-5R) と接続して、XS-83P から電動スクリーンやパナソニック電源制御ユニット (WU-L67) をコントロールすることができます。LAN 接続型デジタル IO ユニットと接続する場合は、以下の手順で IP アドレスとポート番号を設定します。

### IP アドレスの設定

1. [MENU] ボタン ⇒ [LINEEYE CTRL] ⇒ [LINEEYE IP ADDRESS] で、LAN 接続型デジタル IO ユニットと同じ IP アドレスを設定する。



### ポート番号の設定

1. [MENU] ボタン ⇒ [LINEEYE CTRL] ⇒ [LINEEYE PORT] で、LAN 接続型デジタル IO ユニットと同じポート番号を設定する。



## 出力機器をモニターする

接続されているプロジェクターまたはディスプレイの中から、1つの機器の状態をモニターすることができます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [MONITOR] ⇒ [MASTER STATUS] で、モニターする出力先を指定する。

```

MONITOR                2/14
TIME-QUERY MONITOR
MASTER STATUS         OFF
                        OUTPUT1
OUT1 MONITOR TYPE
Panasonic PROJECTOR
    
```

## ログに時刻を記録する

OUTPUT1～3のいずれかに時刻情報を返すプロジェクター、またはディスプレイを接続すると、ログ・データに時刻情報を記録することができます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [MONITOR] ⇒ [TIME-QUERY MONITOR] で、時刻情報を返す機器を指定する。

```

MONITOR                1/14
TIME-QUERY MONITOR
MASTER STATUS         OFF
                        OUTPUT1
OUT1 MONITOR TYPE
Panasonic PROJECTOR
    
```

## 出力機器の種類を設定する

1. [MENU] ボタン ⇒ [MONITOR] ⇒ [OUT1 MONITOR TYPE] ~ [OUT3 MONITOR TYPE] で、各出力機器の種類を設定する。

```

MONITOR                3/14
TIME-QUERY MONITOR
MASTER STATUS         OFF
                        OUTPUT1
OUT1 MONITOR TYPE
Panasonic PROJECTOR
    
```

## 出力機器のボーレートを設定する

1. [MENU] ボタン ⇒ [MONITOR] ⇒ 設定する出力機器 (OUT1～3) の [CONTROL BAUDRATE] で、各出力機器のボーレートを設定する。

```

MONITOR                4/14
MASTER STATUS
                        OUTPUT1
OUT1 MONITOR TYPE
Panasonic PROJECTOR
CONTROL BAUDRATE
3600bps
    
```

## シャッター・コントロールを設定する

出力機器の種類でプロジェクターを選択した場合、[映像 OFF] ボタンに連動して、プロジェクターのシャッター制御を行うか設定します。

1. [MENU] ボタン ⇒ [MONITOR] ⇒ 設定する出力機器 (OUT1～3) の [SHUTTER CONTROL] で、ON または OFF を設定する。

```

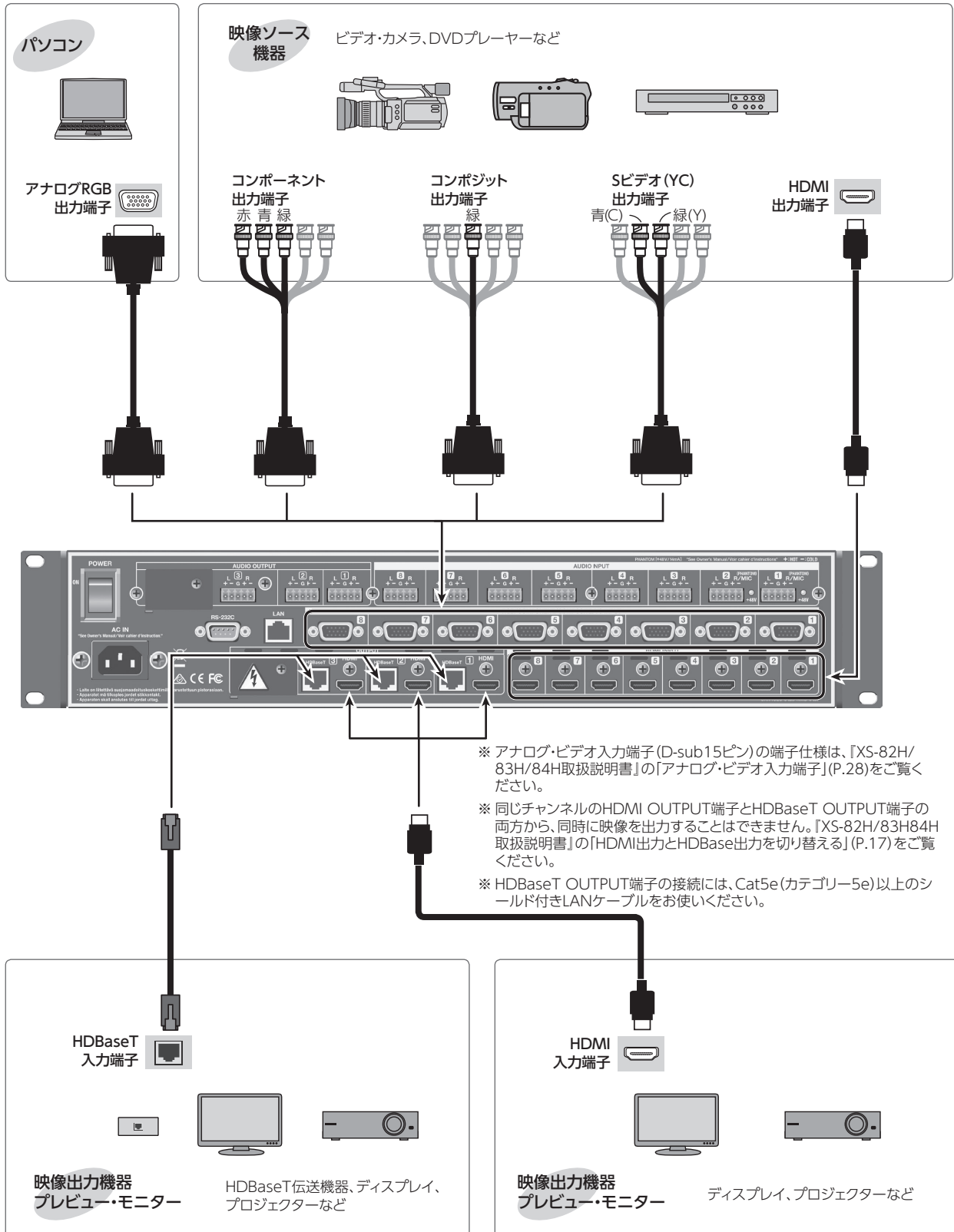
MONITOR                5/14
OUT1 MONITOR TYPE
Panasonic PROJECTOR
CONTROL BAUDRATE
3600bps
SHUTTER CONTROL
ON
    
```

# 外部機器の接続

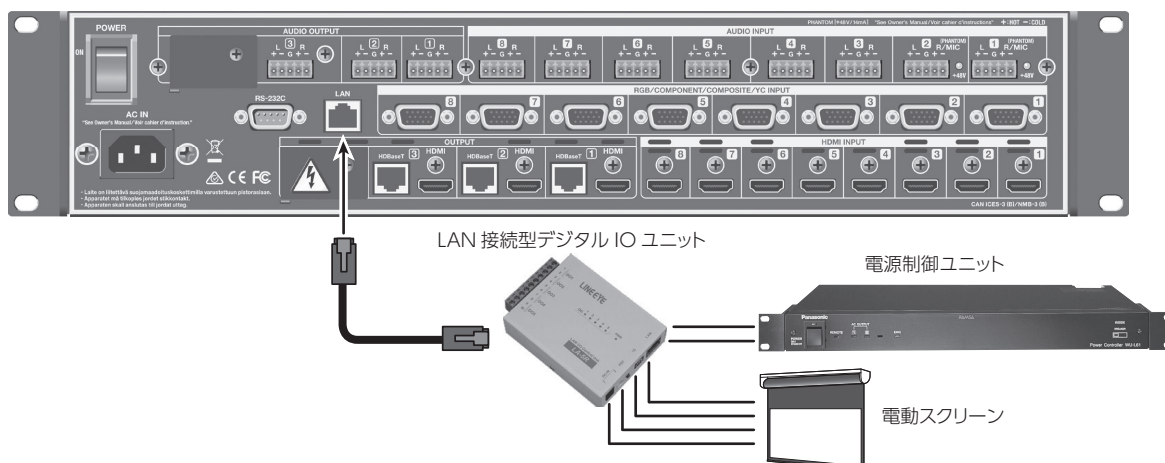
- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- ※ お使いの機器のコネクタ形状に合ったケーブルおよび変換プラグをご用意ください。

## 映像のソース機器／出力機器を接続する

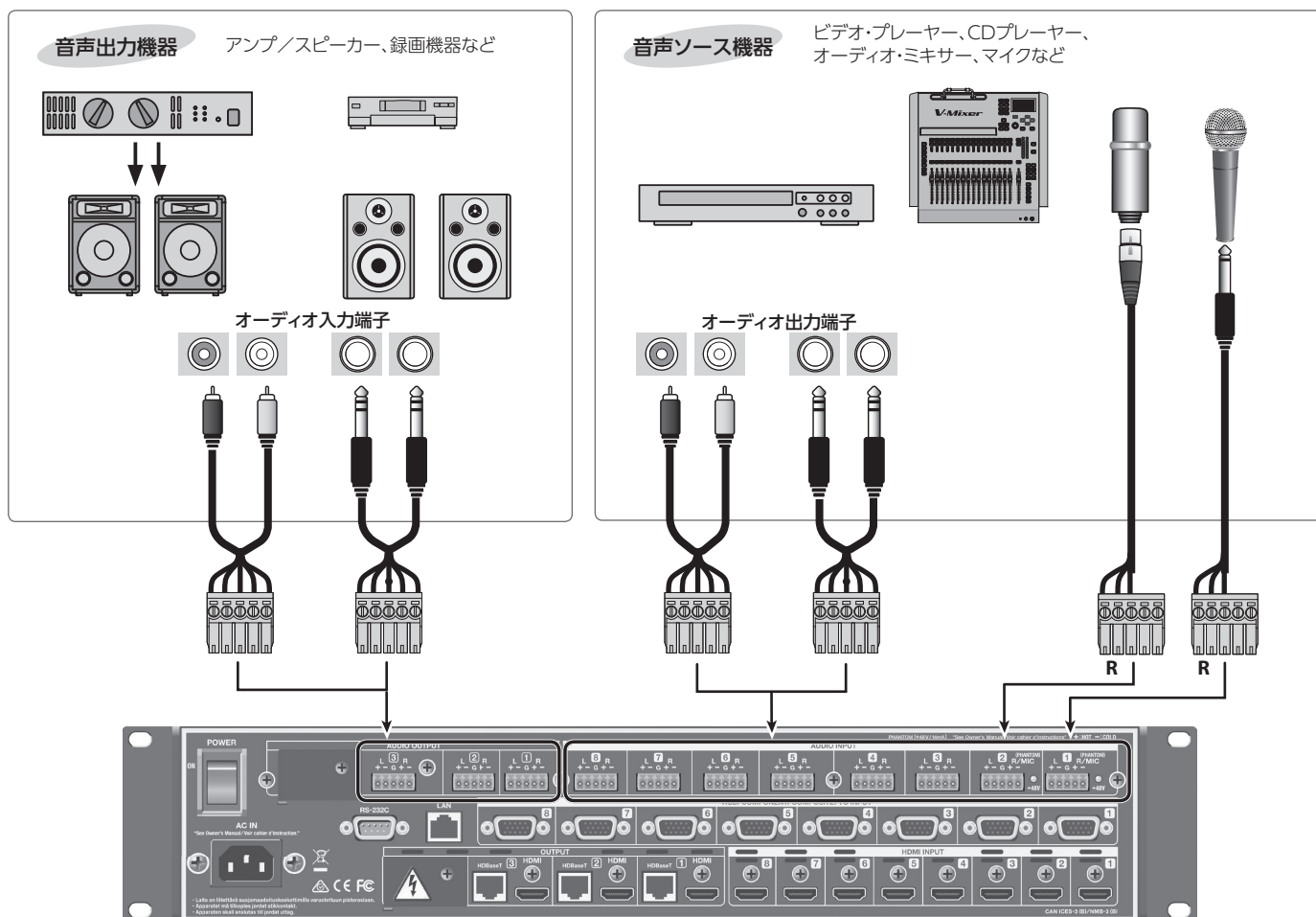
接続後は、映像チャンネル 1 ～ 8 に入力する映像信号の種類を設定してください。  
設定方法は、『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』(P.15) をご覧ください。



## その他の周辺機器を接続する



## 音声のソース機器／出力機器を接続する



※マイクは、AUDIO INPUT 端子 1 または 2 の R チャンネル側に接続してください。配線方法は、『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』の「AUDIO INPUT / OUTPUT 端子」(P.29)をご覧ください。

※AUDIO INPUT 端子 1、2 (R チャンネルのみ) からは、ファンタム電源 (+48V) を供給することができます。ファンタム電源の必要なコンデンサー・マイクを使用するときは、ファンタム電源をオンにしてください。

[MENU] ボタン ⇒ 「AUDIO INPUT」 ⇒ 「ANALOG-1」または「ANALOG-2」 ⇒ 「PHANTOM POWER」を「ON」に設定します。ファンタム電源がオンになると、端子横のファンタム電源インジケーターが点灯します。

### ご注意!

ファンタム電源供給の必要なコンデンサー・マイクを接続したとき以外は、ファンタム電源を必ずオフにしてください。ダイナミック・マイクやオーディオ再生装置などにファンタム電源を供給すると故障の原因になります。マイクの仕様については、お使いのマイクの取扱説明書をお読みください。(本機のファンタム電源: DC 48V、14mA Max)

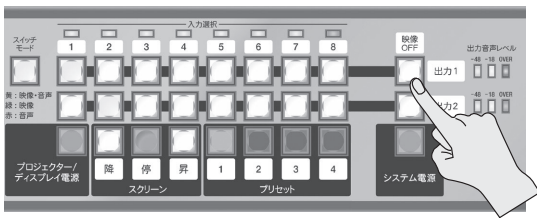
# 映像／音声の操作

ここでは、XS-83P で追加された操作について説明します。

## 出力映像にフェードをかける

出力映像にフェードをかけます。

1. [MENU] ボタン ⇒ [TRANSITION] ⇒ [TIME] でフェード時間 (0.0 ~ 10.0sec) を設定する。  
瞬時に単色映像に切り替えたい場合は、「0.0sec」に設定します。  
※ [TIME] の設定は、映像切り替え (『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』P.15) にかかる時間と共通です。
2. フェード・アウトさせたい映像出力チャンネルの [映像 OFF] ボタンを押す。



手順 1 で設定した時間で、映像がフェード・アウトします。フェード中は、[映像 OFF] ボタンが点滅します。完全にフェード・アウトすると、[映像 OFF] ボタンが点灯に変わります。

3. フェード・インさせるには、もう一度 [映像 OFF] ボタンを押す。

[映像 OFF] ボタンが点滅し、映像の出力が始まります。完全にフェード・インすると、[映像 OFF] ボタンが消灯します。

### メモ

- フェード色を変更することができます。[MENU] ボタン ⇒ [OFF SWITCH] ⇒ [RED]、[GREEN]、[BLUE] で色を調整してください。フェード色の設定は、映像切り替え (『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』P.15) と共通です。
- 工場出荷時、映像のフェード・アウト／インに連動させて、音声もフェード・アウト／インする設定になっています。音声を連動させない場合は、[MENU] ボタン ⇒ [OFF SWITCH] ⇒ [AUDIO FOLLOW] を「OFF」に設定してください。

## 音量を調整する

### MIC1 / MIC2

MIC1 (ANALOG INPUT1)、MIC2 (ANALOG INPUT2) の入力レベルを調整します。

1. カーソル・ボタンを押して、ディスプレイの表示を MIC1 画面または MIC2 画面に切り替える。



2. [VALUE] つまみを回して、入力レベルを調整する。

### AV

MIC1 (ANALOG INPUT1)、MIC2 (ANALOG INPUT2) 以外の入力レベルを一括で調整します。対象となる入力は、HDMI AUDIO INPUT 1 ~ 8、ANALOG AUDIO INPUT 3 ~ 8 です。

1. カーソル・ボタンを押して、AV 画面に切り替える。



2. [VALUE] つまみを回して、入力レベルを調整する。

### MASTER

出力音声レベルを調整します。

1. あらかじめオーディオ・フェーダーにアサインする音声出力チャンネルを設定しておく。  
※『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』(P.14) をご覧ください。
2. カーソル・ボタンを押して、ディスプレイの表示を MASTER 画面に切り替える。



3. [VALUE] つまみを回して、出力レベルを調整する。

# その他の機能

## プロジェクター／ディスプレイの電源をコントロールする

OUTPUT 1 ～ 3 に接続されたデジタル・リンク対応のプロジェクターまたはディスプレイの電源を、[プロジェクター / ディスプレイ電源] ボタンでオン／オフすることができます。

### 出力機器の設定

[プロジェクター / ディスプレイ電源] ボタンを動作させるには、各出力機器の設定が必要です。  
あらかじめモニターする出力機器の設定 (P.5)、出力機器の種類の設定 (P.5)、出力機器のポーレートの設定 (P.5)、シャッター・コントロールの設定 (P.5) をしてください。

### 本体で操作する

#### 1. [プロジェクター / ディスプレイ電源] ボタンを押す。

接続されたデジタル・リンク対応のプロジェクターまたはディスプレイの電源が、オンまたはオフになります。

ボタン	プロジェクター／ディスプレイ
緑点灯	電源オン
緑点滅	電源起動中
赤点滅	電源終了中
赤点灯	電源オフ

### iPad で操作する

#### 電源をオンする

#### 1. XS-80H Remote の Preset1 画面にある<プロジェクター電源 ON>をタップする。

接続されたデジタル・リンク対応のプロジェクターまたはディスプレイの電源が、オンになります。

#### 電源をオフする

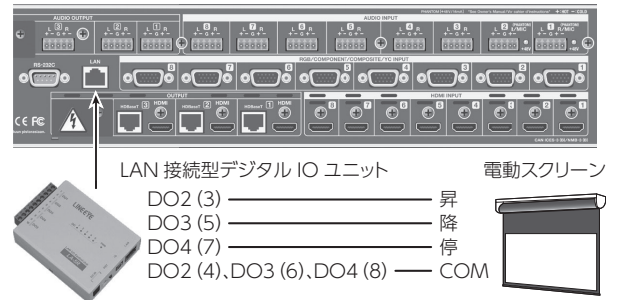
#### 1. XS-80H Remote の Preset2 画面にある<プロジェクター電源 OFF>をタップする。

接続されたデジタル・リンク対応のプロジェクターまたはディスプレイの電源が、オフになります。

## 電動スクリーンをコントロールする

LAN 接続型デジタル IO ユニット (LINEEYE LA-5R) を接続して、XS-83P から LAN 接続型デジタル IO ユニットと接続した電動スクリーンをコントロールすることができます。

### 接続図



### LAN 接続型デジタル IO ユニットの設定

LAN 接続型デジタル IO ユニットの制御するには、LAN 接続型デジタル IO ユニットの IP アドレスとポート番号の設定が必要です。詳しくは、「LAN 接続型デジタル IO ユニット (LINEEYE LA-5R) を接続する」(P.4) をお読みください。

### 本体で操作する

#### 1. スクリーン [降] [停] [昇] ボタンを押す。

[降]: スクリーンが下がります。

[停]: スクリーンが止まります。

[昇]: スクリーンが上がります。

### iPad で操作する

#### 1. XS-80H Remote の Preset1 画面にある<スクリーン降下>、<スクリーン停止>、または<スクリーン上昇>をタップする。

<スクリーン降下>: スクリーンが下がります。

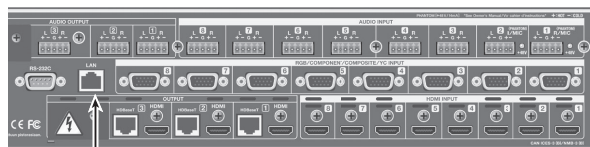
<スクリーン停止>: スクリーンが止まります。

<スクリーン上昇>: スクリーンが上がります。

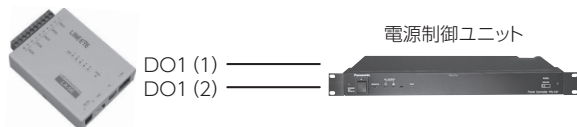
## システム電源をコントロールする

LAN 接続型デジタル IO ユニット (LINEEYE LA-5R) を接続して、XS-83P から LAN 接続型デジタル IO ユニットと接続したパナソニック電源制御ユニット (WU-L67) をコントロールすることができます。

### 接続図



LAN 接続型デジタル IO ユニット



### LAN 接続型デジタル IO ユニットの設定

LAN 接続型デジタル IO ユニットの制御するには、LAN 接続型デジタル IO ユニットの IP アドレスとポート番号の設定が必要です。詳しくは、「LAN 接続型デジタル IO ユニット (LINEEYE LA-5R) を接続する」(P.4) をお読みください。

### 本体で操作する

#### 電源をオンにする

1. [システム電源] ボタンが赤点灯のとき、[システム電源] ボタンを押す。

ボタンの色が緑に変わり、パネルが点灯状態になります。



#### 電源をオフにする

1. [システム電源] ボタンが緑点灯のとき、[システム電源] ボタンを長押しする。

ボタンの色が赤に変わり、パネルが消灯状態になります。

### iPad で操作する

#### 電源をオンにする

1. 本体の [システム電源] ボタンが赤点灯のとき、XS-80H Remote の Preset1 画面にある <システム電源 ON> をタップする。

[システム電源] ボタンの色が緑に変わり、パネルが点灯状態になります。



#### 電源をオフにする

1. 本体の [システム電源] ボタンが緑点灯のとき、XS-80H Remote の Preset2 画面にある <システム電源 OFF> ボタンをタップする。

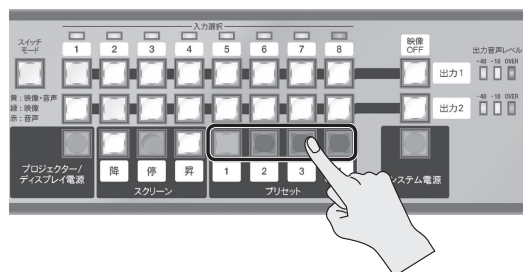
[システム電源] ボタンの色が赤に変わり、パネルが消灯状態になります。



### 設定を呼び出す (プリセット)

現在のクロス・ポイントや音声/映像の設定などをプリセットとして本体に保存し、必要なときに呼び出して使うことができます。本体には、11 個のプリセットを保存することができます。

1. 呼び出したいプリセット番号 [1] ~ [4] のボタンを押す。



#### メモ

- プリセットの保存方法は、『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』の「設定を保存する」(P.23) をご覧ください。XS-83P では、プリセット番号 1 ~ 11 のみ、使用できます。
- プリセット番号 5 ~ 11 の設定を呼び出す方法は、『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』の「設定を呼び出す」(P.23) をご覧ください。
- 設定を呼び出す場合、一部の設定だけを呼び出すこともできます。詳しくは『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』の「設定を呼び出す」(P.23) をご覧ください。

## USB メモリーにログ・データを記録する

XS-83P の操作状況 (ログ・データ) を USB メモリーに記録することができます。

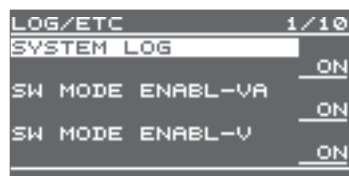
### 設定

#### 1. フロント・パネルの USB MEMORY 端子に USB メモリーを挿す。

USB メモリーのフォーマット方法は、『XS-82H/83H/84H 取扱説明書』の「USB メモリーをフォーマットする」(P.24) をご覧ください。

#### 2. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [SYSTEM LOG] を [ON] にする。

ログの書き込みが開始されます。



### 記録する内容

コマンド	動作内容	パラメーター	パラメーターの説明
OUTV:a:b	映像入力を切り替えました。	a: 1 ~ 3 b: 1 ~ 8	OUTPUT 番号 映像の入力番号
OUTA:a:b	音声入力を切り替えました。	a: 1 ~ 3 b: 1 ~ 8	OUTPUT 番号 音声の入力番号
SYSPW:a	システム電源のボタンをオン/オフしました。	a: ON、OFF	電源のオン、オフ
PROJ:a	プロジェクター/ディスプレイの電源ボタンをオン/オフしました。	a: ON、OFF	電源のオン、オフ
SCRN:a	電動スクリーンの昇降止ボタンを動作させました。	a: DOWN、STOP、UP	降下、停止、上昇
SHUT:a:b	プロジェクターのシャッター制御を行いました。	a: 1 ~ 3 b: ON、OFF	OUTPUT 番号 シャッター・コントロール
PRSET:a	プリセットをロードしました。	a: 1 ~ 11	プリセット番号
SWMOD:a	スイッチ・モードを切り替えました。	a: VA、V、A、PRESET	モードの種類
INST:a:b	入力ステータス	a: 1 ~ 8 b: CONNECT UNCONNECT	INPUT 番号 CONNECT: 接続しました UNCONNECT: 切断しました
OUTST:a:b	出力ステータス	a: 1 ~ 3 b: CONNECT UNCONNECT HDCP SUPPORT	OUTPUT 番号 CONNECT: 接続しました UNCONNECT: 切断しました HDCP SUPPORT: HDCP 認証完了
HDCPIN:a:b	入力側の HDCP の設定が変わりました。	a: 1 ~ 8 b: OFF、ON	INPUT 番号 OFF: HDCP INPUT DISABLE ON: HDCP INPUT ENABLE
HDCPOUT:a:b	出力側の HDCP の設定が変わりました。	a: 1 ~ 3 b: OFF、ON	OUTPUT 番号 OFF: HDCP INPUT DISABLE ON: HDCP INPUT ENABLE
IHDCPST:a:b	入力の HDCP 付加情報	a: 1 ~ 8 b: OFF、ON	INPUT 番号 OFF: NON-HDCP 入力 ON: HDCP 入力

## その他の機能

コマンド	動作内容	パラメーター	パラメーターの説明
OHDCPST:a:b (*1)	出力の HDCP 対応状況	a: 1 ~ 3	OUTPUT 番号
		b: UNCONNECT CONNECT  HDCP CHECK HDCP ERROR HDCP OK	UNCONNECT: 切断しました CONNECT: 接続しました (HDCP OUTPUT DISABLE 設定の場合は CONNECT で接続完了です。)  HDCP CHECK: HDCP 認証中 HDCP ERROR: HDCP 認証失敗 HDCP OK: HDCP 認証成功 (HDCP OUTPUT ENABLE 設定の場合は HDCP OK で接続完了です。)
ERR:a:b	エラー	a: FAN_1、FAN_2	FAN_1: FRONT FAN FAN_2: POWER FAN
		b: OK、NG	NG: ファン停止
MONIPWR:a:b (*2)	出力先モニター／プロジェクターの電源状態	a: 1 ~ 3	OUTPUT 番号
		b: OFF、ON	OFF: モニター／プロジェクターの電源がオフ ON: モニター／プロジェクターの電源がオン
PROJLMP:a:b (*3)	出力先プロジェクターのランプ状態	a: 1 ~ 3	OUTPUT 番号
		b: STANDBY POWER UP ON POWER DOWN	STANDBY: ランプ・スタンバイ (= 電源オフ) POWER UP: 起動中 ON: 点灯中 POWER DOWN: 終了中

(\*1) モニタリングのタイミングにより、途中のステージが抜けることがあります。

< 例 >

OHDCPST:1:CONNECT

OHDCPST:1:HDCP OK

・上記のように、HDCP CHECK などが抜けることがあります。最終的な状態 (= HDCP OK) は必ず保存されます。

(\*2) 常に一定間隔 (約 40 秒) でモニタリングを行いますが、状態に変化があったときのみログに記録します。

(\*3) 常に一定間隔 (約 40 秒) でモニタリングを行いますが、状態に変化があったときのみログに記録します。

モニタリングの間隔が長いので、間の状態 (起動中 / 終了中) が抜ける場合があります。

### メモ

- ログに時刻を記録したい場合

ログ・データに時刻情報を記録したい場合は、OUTPUT1 ~ 3 のいずれかに、時刻情報を返すプロジェクターまたはディスプレイを接続してください。設定方法は「ログに時刻を記録する」(P.5) をご覧ください。

- ファイル名の付け方

・拡張子は「LOG」とし、ファイル名は起動するたびに番号「0000」を付けます。

・起動時に USB メモリーのファイルを検索し、たとえば「0000.LOG」「0001.LOG」が見つければ「0002.LOG」から書き込みます。

### ご注意!

- USB にファイルを書き込むタイミング

電源を入れてから、または最後の操作がされてから約 10 秒以上経過したあとに、その間に発生した内容を USB メモリーに書き込みます。

- 動作補償

操作が行われたタイミングでログを書き込む仕様ではないため、不具合が発生した場合は、最後の操作内容が記録されない場合があります。

- USB メモリーの注意点

市販の USB メモリーについて動作テストをしていますが、すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。USB メモリーのメーカーや機種によっては、正しく動作しないものがあります。

## RS-232C メニューについて

XS-83P では、RS-232C メニューの FUNCTION は「RECEIVER」固定になります。

メニュー項目	設定値 (太字は初期値)	説明
BAUD RATE	<b>9600</b> , 38400	RS-232C 端子の通信速度 (bps) を設定します。
FUNCTION	<b>RECEIVER</b>	RS-232C 端子の機能を設定します。 RECEIVER: RS-232C でコマンドを受信し、リモート・コントロールされます。

## スイッチ・モードの有効／無効を設定する

各スイッチ・モードの有効／無効を設定します。

### 映像・音声連動モード（黄色）

1. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [SW MODE ENABL-VA] で、映像・音声連動モードを有効 (ON) / 無効 (OFF) が設定する。

LOG/ETC	2/10
SW MODE ENABL-VA	ON
SW MODE ENABL-V	ON
SW MODE ENABL-A	ON

### 映像独立モード（緑）

1. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [SW MODE ENABL-V] で、映像独立モードを有効 (ON) / 無効 (OFF) が設定する。

LOG/ETC	3/10
SW MODE ENABL-VA	ON
SW MODE ENABL-V	ON
SW MODE ENABL-A	ON

### 音声独立モード（赤）

1. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [SW MODE ENABL-A] で、音声独立モードを有効 (ON) / 無効 (OFF) が設定する。

LOG/ETC	4/10
SW MODE ENABL-VA	ON
SW MODE ENABL-V	ON
SW MODE ENABL-A	ON

### プリセット・モード（青）

1. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [SW MODE ENABL-PRST] で、プリセット・モードを有効 (ON) / 無効 (OFF) が設定する。

LOG/ETC	5/10
SW MODE ENABL-V	ON
SW MODE ENABL-A	ON
SW MODE ENABL-PRST	ON

## トップ画面の表示内容を変更する

MIC1 / MIC2 / AV / MASTER の 4 画面は、トップ画面にのみ表示されます。

これらの 4 画面は、トップ画面への表示 / 非表示を切り替えることができます。

### MIC1 画面の表示／非表示

1. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [TOP DISPLAY MIC1] で、MIC1 画面の表示 (ON) / 非表示 (OFF) を設定する。

LOG/ETC	6/10
TOP DISPLAY MIC1	ON
TOP DISPLAY MIC2	ON
TOP DISPLAY AV	ON

### MIC2 画面の表示／非表示

1. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [TOP DISPLAY MIC2] で、MIC2 画面の表示 (ON) / 非表示 (OFF) を設定する。

LOG/ETC	7/10
TOP DISPLAY MIC1	ON
TOP DISPLAY MIC2	ON
TOP DISPLAY AV	ON

### AV 画面の表示／非表示

1. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [TOP DISPLAY AV] で、AV 画面の表示 (ON) / 非表示 (OFF) を設定する。

LOG/ETC	8/10
TOP DISPLAY MIC1	ON
TOP DISPLAY MIC2	ON
TOP DISPLAY AV	ON

### MASTER 画面の表示／非表示

1. [MENU] ボタン ⇒ [LOG/ETC] ⇒ [TOP DISPLAY MASTER] で、MASTER 画面の表示 (ON) / 非表示 (OFF) を設定する。

LOG/ETC	9/10
TOP DISPLAY MIC2	ON
TOP DISPLAY AV	ON
TOP DISPLAY MASTER	ON

## 主な仕様

ローランド XS-83P : マルチフォーマット・マトリックス・スイッチャー

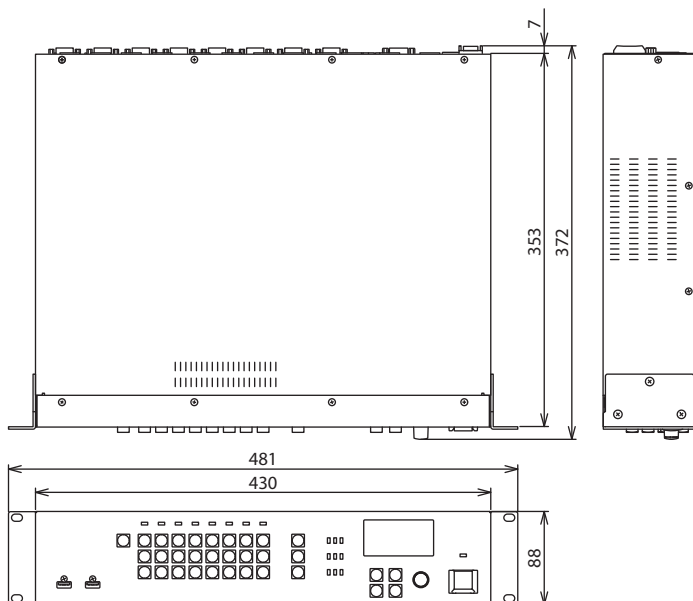
■ 映像			
映像処理	4:4:4 (Y/Pb/Pr)、10ビット		
入力端子	HDMI	Type A (19ピン) × 8 (INPUT 1 ~ 8) ※ HDCP 対応	
	RGB / コンポーネント / コンポジット / Sビデオ	HD DB-15 タイプ × 8 (INPUT 1 ~ 8)	
出力端子	HDMI	Type A (19ピン) × 3 (OUTPUT 1 ~ 3)	※ HDCP 対応
	HDBaseT	RJ-45 × 3 (OUTPUT 1 ~ 3)	
入力レベルおよびインピーダンス	アナログ RGB	レベル	0.7Vp-p (H、V: 5VTTL)
		インピーダンス	75 Ω
	アナログ HD コンポーネント	レベル	1.0Vp-p (同期信号: 2 値 / 3 値)
		インピーダンス	75 Ω
	コンポジット / Sビデオ	レベル	1.0Vp-p (輝度信号)、0.286Vp-p (色差信号 (NTSC))、0.3Vp-p (色差信号 (PAL))
		インピーダンス	75 Ω
スキャン・コンバート部	入力部	アスペクト保持機能、画像調整機能 (ブライトネス、コントラスト、色調整、表示位置、サイズ、上下反転など)、端子ごとの設定保持メモリー	
	出力部	画像調整機能 (ブライトネス、コントラスト、表示位置、サイズ、左右反転、クロップなど)、端子ごとの設定保持メモリー	
入力映像フォーマット	HDMI	480/59.94i、576/50i、480/59.94p、576/50p、720/59.94p、720/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/59.94p、1080/50p 640 × 480/60Hz、800 × 600/60Hz、1024 × 768/60Hz、1280 × 768/60Hz、1280 × 800/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1366 × 768/60Hz、1400 × 1050/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1920 × 1080/60Hz、1920 × 1200/60Hz ※ ビデオ信号のフレーム・レートと本体のフレーム・レート設定を一致させてください。 ※ RGB フォーマット: CEA-861-E または VESA DMT Version 1.0 Revision 11 準拠 ※ 1920 × 1200/60Hz: Reduced blanking	
		RGB / コンポーネント	480/59.94i、576/50i、480/59.94p、576/50p、720/59.94p、720/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/59.94p、1080/50p 640 × 480/60Hz、800 × 600/60Hz、1024 × 768/60Hz、1280 × 768/60Hz、1280 × 800/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1366 × 768/60Hz、1400 × 1050/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1920 × 1080/60Hz、1920 × 1200/60Hz ※ ビデオ信号のフレーム・レートと本体のフレーム・レート設定を一致させてください。 ※ RGB フォーマット: CEA-861-E または VESA DMT Version 1.0 Revision 11 準拠 ※ 1920 × 1200/60Hz: Reduced blanking
	コンポジット		480i/59.94、576i/50
	Sビデオ	480i/59.94、576i/50	
	静止画 (Still Image)	Windows Bitmap File (.bmp) 最大 1920 × 1200、1 ピクセル 24 ビット、無圧縮、最大 4 枚まで内蔵不揮発メモリーに記憶可能	
	出力映像フォーマット	HDMI	480/59.94i、576/50i、480/59.94p、576/50p、720/59.94p、720/50p、1080/59.94i、1080/50i、1080/59.94p、1080/50p 640 × 480/60Hz、800 × 600/60Hz、1024 × 768/60Hz、1280 × 768/60Hz、1280 × 800/60Hz、1280 × 1024/60Hz、1366 × 768/60Hz、1600 × 1200/60Hz、1920 × 1200/60Hz ※ RGB フォーマット: CEA-861-E または VESA DMT Version 1.0 Revision 11 準拠 ※ 640 × 480/60Hz ~ 1366 × 768/60Hz は、フレーム・レートの設定が 50Hz のとき出力リフレッシュ・レートは 75Hz となります。 ※ 1920 × 1200/60Hz: Reduced blanking
HDBaseT			
映像エフェクト	切り替え	擬似シームレス、ミックス、カット ※ ミックスとカットはディゾルブモードと PGM-PST モード時のみ	
	モード	マトリックス、マルチ (最大 4 個まで)、スパン、左右 90 度回転、ディゾルブ (2 種類)、PGM-PST (2 種類)	
	その他	上下反転、左右反転、アウトプット・フェード、アウトプット・フリーズ、静止画キャプチャー、静止画再生、テストパターン出力 (カラーバー、ハッチ、円、他)、ガイド表示	
■ 音声			
音声処理	サンプリング・レート	24 ビット / 48kHz	
入力端子	デジタル	HDMI Type A (19ピン) × 8	
	アナログ	5ピン・ユーロブロック・タイプ × 8	
出力端子	デジタル	HDMI Type A (19ピン) × 3	
	アナログ	5ピン・ユーロブロック・タイプ × 3	

入力レベルおよびインピーダンス	Ch1 ~ 2	入力レベル	-60 ~ +4dBu (最大入力レベル: +22dBu)
		入力インピーダンス	10k $\Omega$ (GAIN 0 ~ 23dBu)、5k $\Omega$ (GAIN 24 ~ 64dBu)
	Ch3 ~ 8	入力レベル	+4dBu (最大入力レベル: +22dBu)
		入力インピーダンス	8.5k $\Omega$
出力レベルおよびインピーダンス	Ch1 ~ 3	出力レベル	+4dBu (最大出力: +22dBu)
		出力インピーダンス	600 $\Omega$
音声フォーマット	HDMI	リニア PCM、24 ビット / 48kHz、8ch	
音声エフェクト	ステレオ 16 入力 3 出力デジタル・オーディオ・ミキサー		
	入力チャンネル・エフェクト	ハイパス・フィルター、モノラル、4 バンド・パラメトリック・イコライザー、コンプレッサー／ダッキング、ゲート	
	出力チャンネル・エフェクト	4 バンド・パラメトリック・イコライザー、コンプレッサー／ゲート、ダウンミックス、リップシンク・ディレイ (1msec 単位、最大 170msec)	
	その他	テスト・トーン出力、音声映像連動 / 非連動機能	
<b>■ その他の機能</b>			
プリセット・メモリー、ログ機能、プロジェクター／ディスプレイ制御、電動スクリーン制御			
<b>■ その他の端子</b>			
RS-232C	9 ピン D-sub タイプ× 1		
LAN	RJ-45 × 1		
USB	A Type × 2 (USB メモリー用、無線 LAN アダプター ONKYO UWF-1 用)		
<b>■ ディスプレイ</b>			
グラフィック LCD 128 × 64 ドット			
<b>■ その他</b>			
電源	AC 100V (50/60Hz)		
消費電力	60W/600mA (100V)		
外形寸法	481 (幅) × 353 (奥行き) × 88 (高さ) mm (EIA-2U ラック 2U、突起含まず)		
質量	6.0kg		
付属品	電源コード (2P-3P 変換器付き)、ユーロブロック・プラグ× 12、ゴム足× 5、USB メモリー・カバー、電源ボタン・カバー、取扱説明書、保証書、ローランドユーザー登録カード		

※ 0dBu=0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

## 外形寸法図



単位：mm



※ 本製品は技術的保護手段による制約の一部または全部を受けずに録音、録画あるいは複製を行うことができます。これは本製品が音楽制作や映像制作を目的としており、他者の著作権を侵害しない作品（自作曲など）の録音、録画あるいは複製まで、制約を受けることがないように設計されているためです。

※ Roland は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

※ 文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1



\* 5 1 0 0 0 5 4 5 6 7 - 0 4 \*